

平成25年度  
私立学校初任者研修 北陸地区研修会  
実施報告概要

北陸地区の本年度初任者研修会は8月5日（月）～8月7日（水）の3日間、富山市の高志会館で開催され、47名が参加した。

1日目には、開会式に続いて、啓新高等学校、荻原昭人理事長校長による「私学教員の心構え」と題する講演が行われた。「あなたたちは、何のために教師になったのだ」という熱い問いかけに、緊張気味だった初任者たちも次第に引き込まれていった。



次に、「学習指導について」と題して、新川高等学校、木下誠次校長から、日々の授業を充実させることの大切さを語っていただいた。

続いて、「グループ作り」が行われた。分散会のグループに分かれて学校紹介が行われ、翌日行われる討議をより充実したものにする導入がなされた。

2日目は、まず高岡向陵高等学校、米田淳一校長による「生徒指導について」が行われ、生徒の気持ちを理解することの難しさを学んだ。



次に、富山県総合教育センター、宝田幸嗣教育専門員による「カウンセリングの実際」へと続き、学校現場でのより実践的な内容へと入っていった。

午後からは、高岡法科大学、田中常弘教授より「教育現場の危機管理」と題する講演をいただいた。いじめ、体罰も含む幅広い学校危機管理について、データを基に解説がなされた。

次の分散会では、参加者が5グループに分かれ、指導助言者のもと、生徒指導や学習指導についての協議を進めた。



その後、参加者及び運営委員を交えて夕食を兼ねての経験交流会が催され、限られた時間ではあったが初任者にとってはコミュニケーションの場として有意義なひとときとなった。

3日目は、前日に行われた分散会の協議内容について、各グループの代表者による発表が行われ、最後に富山国際大学付属高等学校、中田正幸校長によって指導・講評がなされた。

閉会式では、富山県私立中学高等学校協会、川原隆平会長による研修会の総括を交えた閉会挨拶の後、参加者代表に修了書が授与され3日間の研修会は終了した。